



「ありがとう」の連鎖，プラスのイオンの充満，Win Win

ともにのびよう

☆☆☆☆☆ パワーアップ週間特集 ☆☆☆☆☆

九九ができなくなったのはなぜ？

校長 小池 進輔

▼2年生と一緒に九九を唱えていたとき、あることに気づきました。1の段から5の段まではすらすらと唱えられるのに、6の段からパッと唱えられない部分があるのです。しかも、7の段・8の段・9の段と行くに連れてそれが増えていきます。左記の九九一覧表の中で空欄にした所がそうです。小学校2年生のとき祖父のお陰で完璧に覚えた九九なのに、45年の歳月を経てなぜそうなったのでしょうか？

2の段	3の段	4の段	5の段	6の段	7の段	8の段	9の段
にいちがに $2 \times 1 = 2$	さんいちがさん $3 \times 1 = 3$	しいちがし $4 \times 1 = 4$	ごいちがご $5 \times 1 = 5$	ろいちがろ $6 \times 1 = 6$	しちいちがしち $7 \times 1 = 7$	はちいちがはち $8 \times 1 = 8$	くいちがく $9 \times 1 = 9$
ににがに $2 \times 2 = 4$	さんにがさん $3 \times 2 = 6$	しにがし $4 \times 2 = 8$	ごにがご $5 \times 2 = 10$	ろにがろ $6 \times 2 = 12$			
にさんがさん $2 \times 3 = 6$	さんさんがく $3 \times 3 = 9$	しさんがし $4 \times 3 = 12$	ごさんがご $5 \times 3 = 15$				
にしがは $2 \times 4 = 8$	さんしは $3 \times 4 = 12$	ししは $4 \times 4 = 16$	ごしは $5 \times 4 = 20$	ろしは $6 \times 4 = 24$			
にごがご $2 \times 5 = 10$	さんごがご $3 \times 5 = 15$	しごがご $4 \times 5 = 20$	ごごがご $5 \times 5 = 25$	ろごがご $6 \times 5 = 30$	しごがご $7 \times 5 = 35$	はごがご $8 \times 5 = 40$	
にろがろ $2 \times 6 = 12$	さんろがろ $3 \times 6 = 18$	しろがろ $4 \times 6 = 24$	ごろがろ $5 \times 6 = 30$	ろろがろ $6 \times 6 = 36$			
にしは $2 \times 7 = 14$	さんしは $3 \times 7 = 21$	ししは $4 \times 7 = 28$	ごしは $5 \times 7 = 35$	ろしは $6 \times 7 = 42$	ししは $7 \times 7 = 49$		
にちがち $2 \times 8 = 16$	さんちがち $3 \times 8 = 24$	しちがち $4 \times 8 = 32$	ごちがち $5 \times 8 = 40$	ろちがち $6 \times 8 = 48$	しちがち $7 \times 8 = 56$	はちがち $8 \times 8 = 64$	
にくがく $2 \times 9 = 18$	さんくがく $3 \times 9 = 27$	しくがく $4 \times 9 = 36$	ごくがく $5 \times 9 = 45$	ろくがく $6 \times 9 = 54$	しくがく $7 \times 9 = 63$	はくがく $8 \times 9 = 72$	くくがく $9 \times 9 = 81$

- ヒント1：“少し考えれば”唱えることができます。
- ヒント2：【かけられる数】よりも〈かける数〉が小さい方がなかなか唱えることができません。
- ヒント3：〈かける数〉が5のときは唱えることができますが、9の段の「 9×5 」は多少時間がかかります。

結論から言うと、いつの間にか**楽をして計算する癖がついていた**のです。詳しく言うと、【**かけられる数**】よりも〈**かける数**〉が**小さくなった**とき、自然に、【**かけられる数**】と〈**かける数**〉とを**逆に**して計算していたのです。端的に言うと、交換法則です。“少し考える”時間は、“【**かけられる数**】と〈**かける数**〉とを逆にする（交換する）”手間を示しています。

例えば、「 7×6 」であれば「 $6 \times 7 = 42$ 」、「 8×7 」であれば「 $7 \times 8 = 56$ 」、「 9×7 」であれば「 $7 \times 9 = 63$ 」というふうに。……合理的と言えれば合理的ですが、2年生に示しがつきません。
▼人間は使わないと忘れる動物です。使い続けると忘れません。そう言えば、文書作成を手書きではなくコンピュータ（一太郎やWord等）に頼り始めてから徐々に漢字が書けなくなってきました。自分の頭の代わりにコンピュータのCPUが考え（変換し）てくれるからです。

2年生のお陰で、自分の脳のはたらきの変化を実感することができました。学力向上のためには、授業に集中することが大切ですが、家庭で繰り返し学習することで習熟が図れます。さらに、夜更かしや寝坊をせずに朝ご飯をしっかり食べること、そのためのメディアコントロール、歯科衛生に始まる健康づくり、挨拶に象徴される家族関係……総てパワーアップ週間のねらいであり、学力向上の基盤です。
▼ところで、私は、〈**かける数**〉が5のときは割と覚えていて、すぐに唱えることができました。なぜでしょうか？……分かった子は、校長先生に教えてください。

パワーアップ週間、よろしくお願ひします!

来週から、パワーアップ週間が始まります。ご多用のことと存じますが、ご家庭での生活習慣・学習習慣、そして、挨拶についてお子さんへのご支援や励ましをよろしくお願ひいたします。

先回のパワーアップ週間で保護者の皆様がお子さんに対して行ったこと等を大森教務主任がまとめました。ご覧いただければ幸いです。

<1年生(抜粋)>

- ・テレビやゲームの時間があまり守られなかった。本人と相談し、時間を相談したり、時間を守るにはどうすればよいか?考えさせたりした。
- ・集中できるように静かな環境作りに心掛けた。
- ・テレビやゲームをする時間を制限したり、注意して見たりした。
- ・プリントを一緒にして、分からないところを一つずつアドバイスしながら見て教えた。
- ・前回より緊張感がなくなってきたので、言葉掛けを多くした。
- ・土日(週末)に自主学習をしなかったり、メディアが多くなったりしがちなので、今回は何とかしたい。
- ・できるだけ夕食前に宿題を終わらせるようにした。
- ・自主学習でした内容で、よかったところを具体的に褒めるようにした。

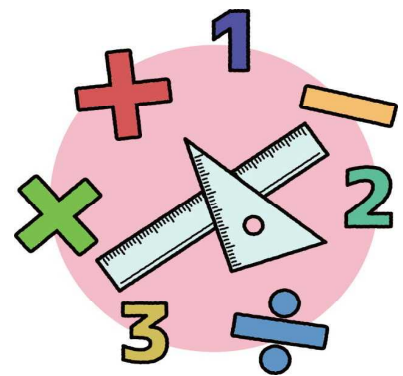
<2年生(抜粋)>

- ・自分で学習内容を考えさせ、自分で時間を見ながらできるように勧めた。
- ・時間をかけてじっくり勉強を一緒に見て、声かけを繰り返し何回もした。
- ・宿題は絶対にするという心構えを意識させた。
- ・学校から帰ったら、まず宿題(家庭学習)をするように声掛けをした。
- ・みんなで一緒に教え合っただけ宿題や勉強をしていたので、見守った。
- ・学習の目標時間は必ず守るという気持ちをもたせて取り組ませた。
- ・集中力が続かない時は、褒めたり励ましたりするのが効果的だった。
- ・児童クラブで宿題を終わらせてくれることを決めて、やってこさせた。
- ・一緒にすることを考え、一緒に音読や絵本を読んであげたら、長く学習ができた。
- ・時々そばにいて、褒めて、励まし、声掛けをした。
- ・早く寝て、朝学習をさせたら効果的だった。



<3年生(抜粋)>

- ・声掛けをして、漢字練習ノート作りを手伝った。
- ・日曜日にいないため、土曜日にたくさんするように計画した。
- ・本人にとって無理なく意欲的に実行できる計画を一緒に考えた。
- ・宿題や家庭学習をできるだけ早いうちにするようにした。
- ・土日は朝から机に向かって勉強するように一緒に計画した。
- ・宿題の丸付けを一緒にして、どこが間違えているか一緒に確かめた。
- ・帰ってきたらすぐに勉強するようにし、意欲が薄れる要素所で声掛けをした。
- ・宿題に取りかかるまで時間が掛かるので、すぐに始められるように声掛けした。
- ・自学ノートで自ら問題を作ることで、子どものどこが理解できていないか分かり、よいアドバイスができた。



< 4年生（抜粋） >

- ・家庭学習や学習の準備は、夕食前までに完了させるという意識付けを行った。
- ・勉強するときは、まず最初にテレビを消してから始める習慣を付けた。
- ・早めに学習ができるようにできるように、毎日最初に声掛けした。
- ・自学は苦手なものにもがんばって取り決めるように計画させました。
- ・学校から帰ったら、まずすぐ宿題を終わらせるように声がけした。
- ・宿題をするとき、子どもの隣に座り、私も別の用紙に同じ問題を書いて、それぞれ答え合わせをした。
- ・計画や約束は、きちんと必ず守ることを意識させた。
- ・分からないところは、そのままにせず、一緒に考えて聞き合い、分かるまでした。
- ・時間（時計）を見ながら取り組ませた。



< 5年生（抜粋） >

- ・テレビを見る前に宿題や自学を終わらせるように声掛けした。
- ・遅い時間にならないで早めに宿題や自学を終わらせるように声掛けした。
- ・目標（設定時間）より長く（多めに）取り組ませる声掛けをしたら、予定より多くの自学に進んで取り組むことができた。
- ・学習しやすい落ち着いた環境を作り、学年目標より多い時間設定を計画段階からするように促した。
 - ・声掛けをうるさいくらい、めげずにやっていました。
 - ・学校のことを聞くようにし、子どもとコミュニケーションを取りながら学習と一緒に取り組んだ。
 - ・自分でしっかりとした学習内容を考え、計画できるように一緒に取り組み、声がけした。
 - ・学校から帰ったらすぐに宿題や学習の準備をするように声掛けした。
 - ・自分で決めたことは最後までしっかりと守り、やり遂げるように確認し合った。



< 6年生（抜粋） >

- ・まずはテレビを消して、それから勉強を始める習慣を付けさせ、学習にとにかく集中できる環境作りをした。
- ・学習の終わりまで繰り返し声掛けや励ましを行った。
- ・自分で計画的に進んで学習していたので、集中力が欠けたときなどの要所で声掛けをするようにした。
- ・全体的に計画通りに学習していたが、もう少し設定時間を長くして、少しでも多く学習に取り組むように働きかけた。
- ・毎日決まった時間に（毎日5時頃に）声掛けをするようにした。
- ・学校から帰ってきたら、すぐに宿題や自学に取り組むように働きかけた。
- ・遅くなる前に、早めに勉強を済ますように声掛けした。
- ・宿題や自学を終えてからでないと、ゲームやテレビの時間に入らないことを約束した。
- ・家族みんな（全員）で声を掛け合ったり、どの程度進んでいるか確認し合ったりするようにした。



1月16日（月）の干拓太鼓練習，1月17日（火）の児童朝会の様子を写真でご覧ください。
随所で，6年生がリーダーシップを発揮しています。

干拓太鼓練習



教え，教えられ……そこから生まれる絆



伝え続ける「紫小っ子魂」は「干拓魂」そのもの



みんなで合わせてみました！



児童朝会



給食委員会からのお知らせ



環境・ボランティア委員会からのお知らせ



5年生による縄跳びの実演



6年生による縄跳びの実演